

観光立国の推進(その2)

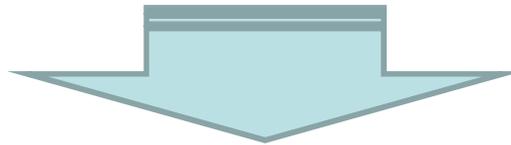
委員からの指摘事項

- 日本はクルーズに適した国、手頃な価格の国内クルーズの振興が必要。
- クルーズにおける種々の規制やボトルネックの解消が必要。
- 訪日外国人はクルーズよりむしろ定期航路、特に日韓航路がポイント。
- 荷物をたくさん持ち込める船の特長を活かすことが大事。
- 地方の生活航路も観光資源となりうる。
- 多言語化は、外国人目線が必要。
- マリンレジャー振興には、初心者対応も必要。事故防止にもつながる。

今後の政策の方向性(観光立国の実現に向けて)①

課題

- 日本への交通手段としての船舶(クルーズ、定期航路)についても、拡大の余地がある。
- 国内クルーズ等について、潜在的なニーズはあるものの、それに対応した商品・サービスの提供が十分ではない。
- 船旅の魅力について、情報発信が不十分であるため、日本人・外国人双方とも、認知度が不足している。
- 水上交通に関する案内表示が統一されておらず、他モードとの連携不足等のため、分かりづらい。



今後の政策の方向性

- クルーズや外航定期航路のボトルネックの解消やさらなる活性化
- 外国人が気軽に「海」を楽しめる、商品・サービスの開発、場所や機会の提供
- 外国人に対する、「海」に関する情報発信や、案内表示の充実

政策の具体化

I. 訪日外国人の交通手段

① 日韓定期旅客航路の活性化

- ・ 日韓定期旅客航路活性化協議会を通じた利用者ニーズの把握、新商品造成の支援

② 外航クルーズ船の寄港促進

- ・ ワンストップ窓口での対応等

II. 訪日後の交通手段・観光資源

① 2020年オリパラ開催を見据えた首都圏を中心とする取組

- ・ 東京の水上交通の魅力発信と企画商品の造成
- ・ 旅客船への誘導案内の充実
- ・ 水素燃料電池船（水上バス等）の実現

② 国内航路や外航クルーズを活用した魅力ある旅行商品の開発等

- ・ 国内航路を活用し、海から楽しめる地域の強みを商品化
- ・ ASEANから日本へのフライ&クルーズの商品化促進

③ マリンレジャーの振興

I. 訪日外国人の交通手段

日韓定期旅客航路の活性化

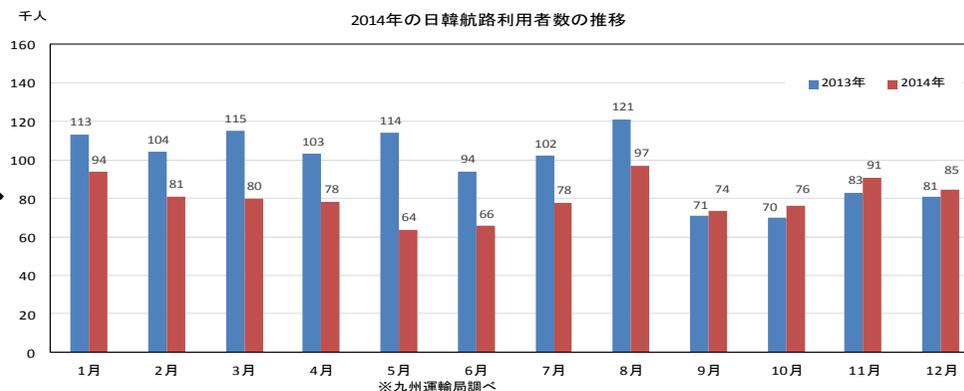
日韓定期航路の現状

(利用者数)

- 2014年の利用者数は約96.4万人(対前年比13%減)
- なお、9月以降は、韓国人の修学旅行の利用等により、前年同月比で増加
- 利用者の約8割は韓国人

韓国人利用者の傾向

会社名	その他
JR九州高速船(博多～釜山、厳原・比田勝～釜山)	個人旅行が中心、リピーターが多い
カメラライン(博多～釜山)	修学旅行が多い
関釜フェリー(下関～釜山)	団体客が多いが個人旅行も増加



今後の取り組み

- 平成26年10月に両国の官民により設立された「日韓定期旅客航路活性化協議会」を通じて、利用者のニーズを把握し、日韓定期航路を利用した新たな旅行商品の造成を支援

(新たな旅行商品のイメージ)※各社で商品化について検討中

- ・ 韓国人の嗜好を取り入れた旅行商品
 - ⇒ 「九州オルレ」(トレッキング)等を取り込んだ旅行商品
 - ⇒ サイクリングツアー
- ・ 個人・少人数旅行者を取り込むための旅行商品
 - ⇒ Web予約の充実、少人数団体客の割引運賃
- ・ 地域の特性を活かした旅行商品
 - ⇒ 「下関名産品セット」付き企画乗船券

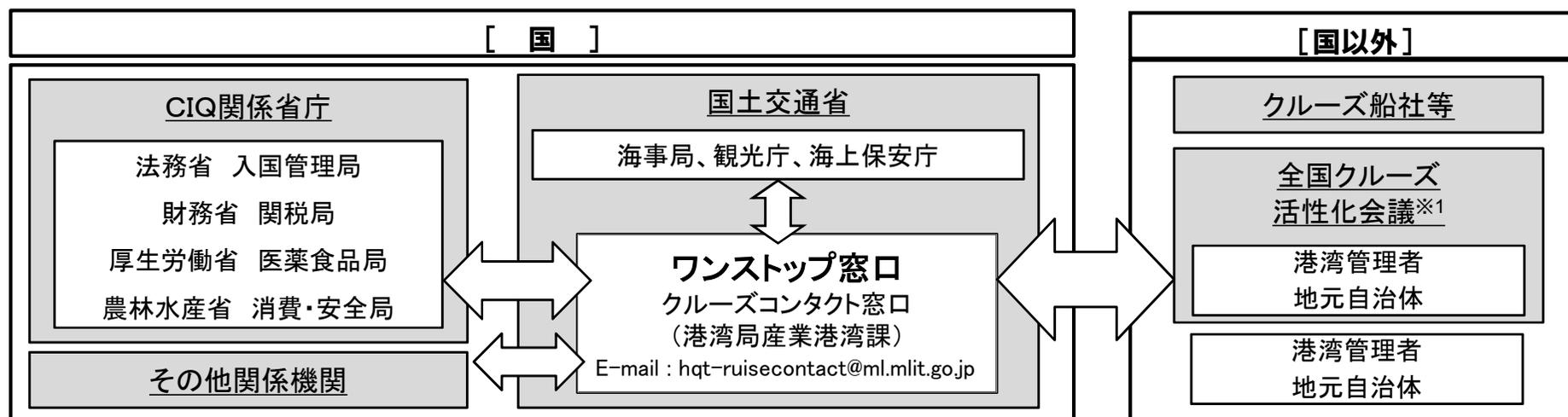


外航クルーズ船の寄港促進

- 「クルーズ100万人時代」の実現に向けた取組として、外国クルーズ船社等からの問い合わせに、「ワンストップ窓口」(国土交通省港湾局)で一元的に対応。
- 多様な問い合わせに、海事局を含む関係者が連携し、対応しているところ。

外国クルーズ船社に対応するワンストップ窓口(2013年6月開設)

外国のクルーズ船社等からの問い合わせに対し、港湾局に設置したワンストップ窓口が関係行政機関との情報共有・連携を図り、適宜、窓口または関係行政機関から回答を行う。



※1 クルーズの振興を通じて、地域振興等に資することを目的とした団体(全国の港湾管理者等108団体が参加)

ワンストップ窓口への問い合わせ(例)

2014.8.2

- ・〇〇港に寄港する際のリムジン・シャトルバスの状況を知りたい。

(対応) 窓口 → 〇〇港の港湾管理者

2014.11.25

- ・新たな入国審査制度の導入時期、手続の方法を教えてください。

(対応) 窓口 → 法務省に確認
(窓口より回答)

(海事局関係)

2014.10.24

- ・日本の港に停泊中の外国籍船で、イベント等を実施可能か。
- ・〇〇港へのクルーズ船寄港時に必要なパイロットの料金を知りたい。

(対応) 窓口 → 海事局

ワンストップ窓口の周知

- ・国内外でのクルーズ船社キーパーソンとの面会時に「ワンストップ窓口」を紹介。



(2014.12 宮崎市)

- ・クルーズ見本市「クルーズ・ SHIPPING・マイアミ2015」(2015.3)において、「ワンストップ窓口」を紹介。



(参考: 前回資料) 貨物港を活用したクルーズ船の寄港増や大型化への対応

- 既存施設を有効に活用しつつ、クルーズ船の寄港増や大型化に対応するため、既存岸壁の係船柱や防舷材等の改良を実施。
- また、夜間出港するクルーズ船に帰船する旅客のため、岸壁上に投光器を配置するなど、必要な対策を実施。

クルーズ船の寄港に対応した港湾施設の改良

(改良イメージ)

外国の大型クルーズ船の寄港に備え、既存岸壁の係船柱や防舷材を改良。



広島港の事例



平成27年3月に完成予定 → これによりクアンタム・オブ・ザ・シーズ(16万トン)の寄港が実現予定(平成27年8月予定)

油津港の事例



平成27年2月に完成 → これによりポイジャー・オブ・ザ・シーズ(13万トン)の寄港が実現予定(平成27年7月予定)

クルーズ客の夜間帰船時の対策

青森港の事例



岸壁上に設置した投光器(写真上○)
[平成26年8月]

(参考: 前回資料) クルーズ100万人時代に向けた取組

○ クルーズ振興を通じた地方の創生を図るため、既存施設を有効に活用しつつ、旅客船ターミナルの整備やクルーズ客の円滑な周遊を可能とするための環境整備等を加速化させ、2020年に「クルーズ100万人時代」の実現を目指す。

1. 「全国クルーズ活性化会議」(会長: 横浜市長、全国108の首長等が参加)と連携して、クルーズ船社、港湾管理者、自治体が参加する商談会・シンポジウムを開催。



船社と港湾管理者等による商談会

2. 外国クルーズ船社等が我が国への寄港を検討する際に必要となる港湾施設の諸元や、寄港地周辺の観光情報を一元的に発信するウェブサイト(※1、※2)を充実。

※1 「Wharf Information」

Wharf (Pier) Information 埠頭別情報

Wharf (Pier) name: ふ頭名: Osanbashi-Pier		
III. PHYSICAL CONSIDERATIONS 物理的留意事項		
1. Berth 岸壁	Length / Water depth 延長/水深	① A~B: 450m / 12m ② C~D: 450m / 10~11m ③
	Height of the pier above MLW or chart datum (平均干潮位又は海図基準からの) 岸壁の高さ	① A~D: 2.45m ② ③
	Pier depth (distance to the closest obstruction behind the pier edge) 岸壁の幅 (岸壁の端から背後障害物までの距離)	① A~D: 20m ② ③
	Minimum depth across the berth 岸壁の最低水深	① AB 12m ② C 11m ③ D 10m
2. Channel 航路	Width / water depth 幅/水深	① <Width>A~D 385~638m ② <Depth>A~D 11.8~32m ③
	3. Turning basin (diameter) 回頭泊地 (直径)	① Ship Length overall ×2 (2LOA) ② ③
4. Clearance 高さ制限		① Approx.53m ② ③
5. Maximum tidal range / max currents 最大潮差		<Tidal range>: HHW: 2.30m / LLW: 0m

全国86港を掲載

※2 「CRUISE PORT GUIDE OF JAPAN」

博多港周辺観光情報

CRUISE PORT GUIDE OF JAPAN

太宰府天満宮

学問の神・菅原道真公を祀り、受験合格などを祈願する参拝者が国内外から訪れ賑わっている太宰府の名所。桃山様式の本殿や御神木の飛梅、国宝を納めた宝物殿など見どころもいっぱい。

所在地・開催地 〒818-0195 福岡県太宰府市幸府 4-7-1

アクセス ツアー・貸車バスより車で45分(16km)
個人: 電車まで西鉄太宰府線「太宰府」駅下車徒歩5分(16km)

季節 通年

関連リンク <http://www.dazaifutenmangu.or.jp/about>
<http://www.kyubaku.jp/>

お問合せ【太宰府天満宮社務所】
電話番号: 092-922-9225
ホームページ: <http://www.dazaifutenmangu.or.jp/contact>

大濠公園・舞鶴公園

大濠公園は市の中心部にありながら春夏秋冬自然に親しむことができる市民のオアシスで、元々は福岡城の外濠だった。舞鶴公園(福岡城址)は石垣、櫓、門、堀などが残り、四季が織り成す美しい自然の風景を楽しむことが出来る。特に春の桜が有名で、福岡城さくらまつりなど、市内屈指の花見の名所として知られる。

所在地・開催地 〒810-0051 福岡市中央区大濠公園

アクセス ツアー・貸車バスより車で10分(3.3km)
個人: 徒歩

季節 通年

全国72港の観光情報を掲載

3. 外航クルーズ客に多様なサービス(通信環境の改善や多言語対応等)を提供する海のゲートウェイとして「みなとオアシス」を活用。



4. 外国クルーズ船社等からの問い合わせに、一元的に「ワンストップ窓口」で対応するとともに、更なる周知を推進。

5. アジア地域等においてクルーズ人口が増加する中、物流ターミナル等の既存ストックを有効活用しつつ、クルーズ船を円滑に受け入れるため、クルーズ船とバスの乗り換え導線の改善などの先導的事業を新たに実施。



《物流ターミナルにおけるクルーズ船の受入状況(例)》

6. 外航クルーズ船の寄港時に埠頭において臨時の仮設店舗の免税許可申請を簡素化。



岸壁や旅客船ターミナルにおける地元物産販売の例

II. 訪日後の交通手段・観光資源

東京の水上交通の魅力発信と企画商品の造成

課題と分析

- 個々の事業者による航路マップや航路のPRはなされているものの、東京ベイエリア全体を捉えた航路マップや航路のPRが行われていない
⇒ **鉄道駅とのアクセス、桟橋の位置、航路等を1つにまとめた情報発信が必要**
- 屋形船、水上バス等の特色を活かし、日本人、外国人双方に向けた企画商品を旅行事業者等と連携して新たに開発
⇒ **家族、外国人向け等ターゲットを定めた気軽に楽しめる商品開発が必要**
- 2014年9月にツーリズムEXPOジャパン開催時に外国の旅行事業者を対象に屋形船への乗船体験を実施
⇒ **外国の旅行事業者を対象に水上バス等も含めた充実した乗船体験を検討する必要**

今後の取組

- 外国人旅行者にとって分かりやすい東京の水上交通(屋形船、水上バス等)の共通の航路マップを新たに作成
- 外国人等の視点を取り入れ、屋形船や水上バスの魅力を最大限に引き出しつつ、気軽に楽しめる企画商品を旅行会社等と連携して開発
- インバウンド商談会の場を積極的に活用し、外国の旅行事業者を対象に乗船体験等を行い、船旅の魅力を海外に発信



屋形船を楽しむ外国人



インバウンド商談会(例)

旅客船への誘導案内の充実／水素燃料電池船

課題と分析

- 水上交通に関するサインや表示が統一されていない、鉄道駅等の陸上交通機関との連携が十分になされていないこと等から、旅客船ターミナルまでのアクセス方法が分かりにくい
- 外国人に対する乗船案内や陸上交通情報等については、チケット販売者や受付担当者がその都度対応しており、外国人に分かりやすい対応窓口がない

⇒ **外国人にも分かりやすい案内表示を実現するため、陸上の関係事業者、交通機関と連携した表示の整備が必要**

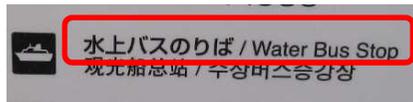
＜案内表示の例＞ ※ サイン、表示が統一されていない

○ 棧橋
・ Pier ・ Sambashi

○ 水上(海上)バス
・ Sea Bus ・ Water Bus

＜窓口の例＞

※ チケット販売者、受付担当者がその都度対応



今後の取組

- 駅等から旅客船ターミナルまでのアクセス向上のため、東京の鉄道事業者等と連携し、ピクトグラムを含む多言語案内表示の充実を図る
- 旅客船ターミナルの窓口等において、陸上交通との乗継情報、浅草、お台場等の周辺の観光情報等を外国語で提供する案内窓口の整備を促進

水素燃料電池船(水上バス等)の実現

○水素燃料電池船の優位性

- 既存の内燃機関に比べ、高い環境特性。今後強化される環境規制強化(NO_x・SO_x・CO₂)に対応
- モーター駆動による低振動・低騒音といった快適性



水上バス



- ゼロエミッション
CO₂、NO_x、SO_x: 全て排出ゼロ
- エンジン騒音なし

東京オリパラにおいて、魅力的な交通機関としてPR

国内航路を活用し、海から楽しめる地域の強みを商品化

<外国人の利用増が期待される船旅の例>

近未来の船から見る東京の摩天楼
(東京都観光汽船㈱:水上バス)

船から見た世界遺産富士山
(駿河湾フェリー:清水～土肥航路)

イルカウォッチング
(㈱シークルーズ:本渡～松島航路)

- ホタルナ・ヒミコは欧州からの取材で取り上げられている。



- 富士山の世界遺産登録により、外国人の利用客が増加。



- 香港のTV番組で天草のイルカウォッチングが紹介。



ドック回航を利用した瀬戸内お散歩クルーズ

離島の魅力発信(座間味村:泊～座間味航路)

- 定期航路船のドック回航を利用し、日中の瀬戸内海を周遊

- ミシュラングリーンガイド掲載、国立公園指定により、外国人の利用が増加。



三田尻港の歓迎風景

野島海運(有)「レインボーあかね」

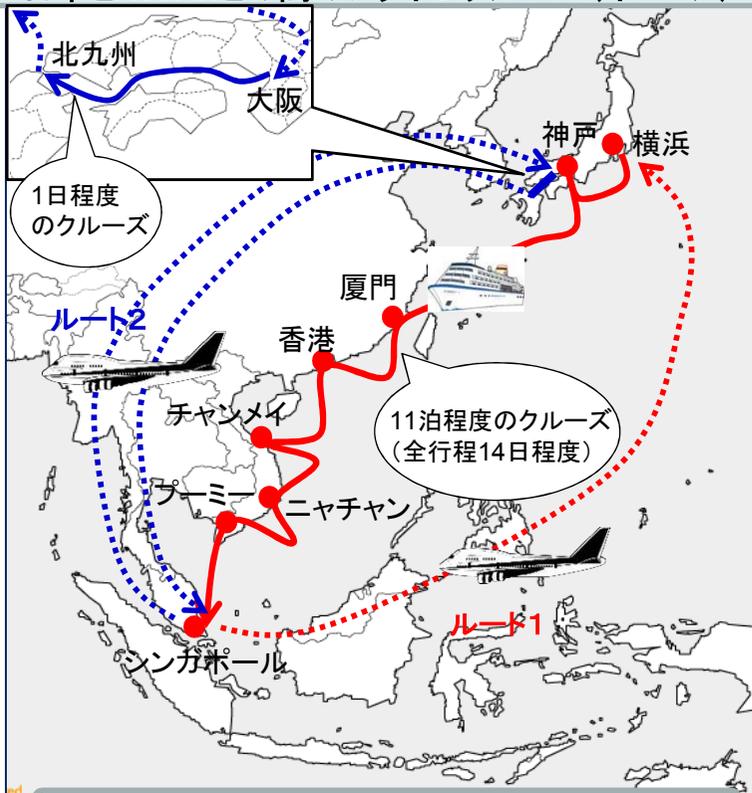


それぞれの地域の“強み”を活かし、外国人のニーズを捉えた船旅の商品開発を行い、それを地域の魅力の1つとして自治体による海外プロモーションやビジットジャパン事業で発信

ASEANから日本へのフライ&クルーズの商品化促進

ASEANにおいて、航空券とクルーズ(日本国内発着クルーズ、日本発ASEAN着クルーズ)を組み合わせた「フライ&クルーズ」商品の開発・販売が行われるよう、国内航路の活性化策と連携しつつ、現地の旅行会社のクルーズ関係知識習得のための研修やモデルルート of 検討を実施する。

日本とASEANとの間のフライ&クルーズ(イメージ)



ASEANから日本へのフライ&クルーズの現状

- ・ ASEAN主要国から日本への訪問者は約160万人※2014年・JNTO調べ
- ・ ASEAN主要国の日本向けフライ&クルーズの利用者は1600人程度
※2014年・外航クルーズ船社からの聞き取り(基本的に船社の自主クルーズ)

ASEANにおけるフライ&クルーズ利用増加の課題

- ・ 日本向けフライ&クルーズ商品を開発・販売できる人材が少ない
- ・ ASEANで日本発着クルーズが知られていない

ASEANから日本へのフライ&クルーズの潜在的需要 大

フライ&クルーズ利用増加のための取り組み

ASEANの旅行代理店のクルーズ知識習得のための研修

- ・ ASEANで日本向けフライ&クルーズ商品を開発・販売する人材を育成
- ・ 日本の国内航路及び日本発外航クルーズの知識を習得

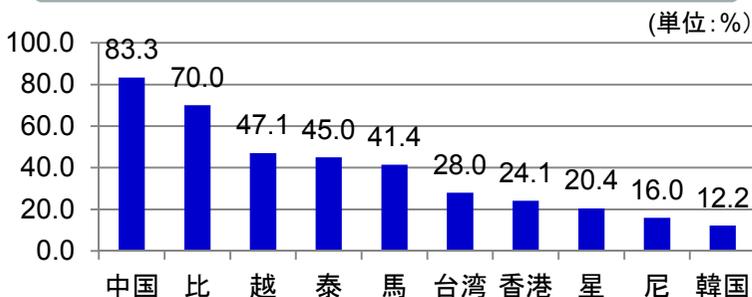
【現地の旅行代理店の例】

- ・ Go Holiday Tour Co., Ltd.(タイ): 募集型ツアーのホールセラー
- ・ BEN THANH TOURIST(ベトナム): 訪日ツアー販売に積極的
- ・ Adam's Express Travel(フィリピン): 世界中のクルーズ旅行手配を行う

日本とASEAN間の「モデルルート」による日本のクルーズのPR

- ・ 日本とASEAN間の新たな「モデルルート」を策定
- ・ 「モデルルート」により日本の魅力的な寄港地をプロモーション

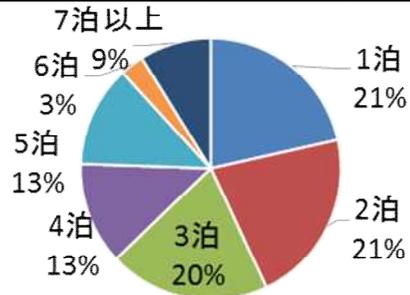
訪日外国人の伸び率の比較(2013年⇒2014年)



(参考)日本籍クルーズ船による国内クルーズ

- 日本籍のクルーズ船3隻による国内クルーズは、2014年には135ツアーが組まれている。
- そのうち、3泊4日以下のクルーズが85ツアーあり、全体の約6割を占めている。

<国内クルーズの泊数別の内訳(2014年)>



泊数	ツアー数	
	回数	割合
1泊	29	21%
2泊	29	21%
3泊	27	20%
4泊	17	13%
5泊	17	13%
6泊	4	3%
7泊以上	12	9%
計	135	100%

3泊以下の国内短期クルーズ
→85回(62%)

- ※ 2014年1月～12月の実績。
- ※ 各社パンフレットやHPをもとに集計。
- ※ 1回のクルーズで複数の乗船プランが設定されている場合がある。

<国内短期クルーズの例(2015年)>

	1泊2日	2泊3日	3泊4日
飛鳥Ⅱ 	「夏の横浜ワンナイトクルーズ」 期 間:2015/8/19～8/20 ルート:横浜発着 価 格:5.2万円～  船上イメージ	「夏の鳥羽クルーズ」 期 間:2015/7/20～7/22 ルート:横浜～鳥羽～横浜 価 格:10.4万円～  鳥羽港	「小樽発 函館・横浜クルーズ」 期 間:2015/9/7～9/11 ルート:小樽～函館～横浜 価 格:15.6万円～  函館
につぼん丸 	「瀬戸内海ゆったりワンナイトクルーズ」 期 間:2015/6/10～6/11 ルート:神戸発着 価 格:4.7万円～  船上から見る瀬戸大橋	「下関／隠岐／金沢クルーズ」 期 間:2015/6/22～6/24 ルート:下関～隠岐～金沢 価 格:7.9万円～  国賀海岸	「飛んでクルーズ九州～上五島・軍艦島周遊・天草～」 期 間:2015/6/19～6/22 ルート:博多～上五島～軍艦島周遊～天草～博多 価 格:12.7万円～  軍艦島
ぱしふいっくびいなす 	「初夏の青森・小樽ワンナイトクルーズ」 期 間:2015/6/15～6/16 ルート:青森～小樽 価 格:3.6万円～  小樽運河	「みなとこうべ海上花火と屋久島・瀬戸内海クルーズ」 期 間:2015/8/8～8/11 ルート:神戸～生口島～屋久島～神戸 価 格:13.1万円～  みなとこうべ海上花火大会	「秋の小豆島・南紀クルーズ」 期 間:2015/9/15～9/18 ルート:横浜～小豆島～新宮～横浜 価 格:12.2万円～  二十四の瞳映画村(小豆島)

※クルーズプラネット、商船三井客船、日本クルーズ客船、郵船クルーズHPより。

マリンレジャーの振興①

取組の考え方

- マリンレジャーの振興には、①マリンレジャーを楽しむきっかけ作り、②気軽に楽しめる環境整備、③魅力の情報発信 が必要

具体的な取組

① 従来からの施策の着実な実施

【UMI協議会（マリン関連16団体により構成）による取組】

- ◆ マリンレジャーの普及及び健全な発展を目指し、プレジャーボートの無料体験乗船会や水辺の安全教室等、海を身近に感じ取れる体験・学習等の取組を引き続き実施。

イベントにおける体験乗船会等の実施



みなと木更津うみ祭り (H26.9.14-15)



東京湾大感謝祭2014
(H26.10.25-26)



【海の駅の推進】

- ◆ プレジャーボートの利用者が誰でも気軽に使用出来る拠点づくりを推進するため、誰でも利用できる共有係留施設の利用が可能なマリーナ、漁港、港を「海の駅」として登録し、周知・利用促進に引き続き取り組む。

しょうなん・逗子マリーナ海の駅 (神奈川県逗子市)



レンタルボートの他、プール・テニスコート等を完備したリゾート施設

具体的な取組(続き)

② 新たな需要活性化イベントの開催

- ◆ UMI協議会体験乗船会等やワークショップ等、従来の体験乗船会等のイベントに加え、子供等の若年層にマリンレジャーの楽しさや海の学習を体験してもらう新たなイベント「マリンチャレンジ2015」を開催。
- ◆ 「マリンレジャーを楽しむきっかけ作り」を推進することにより、将来的なマリンレジャーの愛好者及びボートユーザーの増加を図る。

「マリンチャレンジ2015」概要(案)

- 開催時期： 2015年7月頃（東京都内で開催）
- 実施内容： ・体験乗船（プレジャーボート、キッズボート、カヌー、ディンギー、SUP）
 ・缶バッジ作成、組紐教室、膨張式救命胴衣の体験
 ・マリンレジャーの安全やマナーに関する講座 等



キッズボート



カヌー



水辺の安全教室



スタンドアップパドルボート

昨年度のUMI協議会及び協議会会員主催の体験乗船会等の実績

- ・PWC合同試乗会（4月）
- ・船釣り教室（7月、8月、9月）
- ・セーリング・カヌー体験教室（7月）
- ・YBM海の学校（8月）
- ・ヨット体験乗船会（8月）
- ・みなと木更津うみ祭り（9月）
- ・東京湾大感謝祭（10月）
- ・横浜ボートフェア（10月）
- ・ジャパン・インターナショナルボートショー2015（3月）

③ 新たなマリンレジャービジネスの創出（ヨットチャーター事業）

- ◆ 40ftクラスのヨットをチャーターし、1週間から2週間程度の時間を掛けて船内で食事や宿泊をしながら、観光地を巡る船旅。
- ◆ レンタルボートとは異なり、自らがヨットを操船するのではなく、ヨットを操船する船長や食事を提供するクルー等が同船。小型船舶操縦士免許も不要なため、日本でヨットを操船することができない外国からの観光客も自らのプランで船旅を満喫可能。
- ◆ 大型客船では立ち入れないような喫水の浅い入江や水路等も航行できるため、従来のクルーズ船では訪れることのできないローカルな自然や地域の歴史に触れ合うことが可能。



ボートよりもエンジン音が少なく、ホテル代わりとして活用できる

ボートチャーターは既に事業化



広島観音マリーナでは、プレジャーボートにて厳島神社や宮島等の観光スポットを巡るクルージングプランを用意

(ご参考)初級者向けのプログラムについて

マリン業界団体等において、プレジャーボートの種類に応じた初級者向けのプログラムが実施されているところ。また、初級者向けだけではなく、これから免許を取得する者向けのプログラム等も実施されている。

これらの活動は、マリンレジャーの楽しみだけではなく、体験等を通じて安全に楽しむためのマナーやルール等を指導しており、マリンレジャーの健全な発展に寄与している。

マリン塾

- ◆ ボートメーカー「ヤマハ」がマリーナ等で開講。
- ◆ プレジャーボートを使ったマリンレジャーを年代を問わず誰でも安全に楽しめるようになるための“コツ”を伝授。
- ◆ 平成26年は全国22カ所、約300講座を開催し、約800名が受講。
- ◆ プレジャーボートだけではなく、ヨットセーリング部門も実施。



航海講座実習

- ◆ ボートショー等のイベント時に（一社）日本マリン事業協会が併せて開催。
- ◆ プレジャーボートの操船に不安のある方を対象とし、操船の基礎知識や航行ルール等をボートの上で操船しながら指導するプログラム。
- ◆ 本年3月の「ジャパンインターナショナルボートショー2015」（主催：（一社）日本マリン事業協会）においても開催し、72人が受講。



水上オートバイ体験乗船会・ミニボート安全講習会

- ◆ 水上オートバイメーカー主催の体験乗船会において、操船方法や安全・マナー等に関する講座を実施。
- ◆ （一社）日本マリン事業協会において、釣り大会等ミニボートユーザーが集まる機会に、ミニボートの乗り方やマナー等の指導を含む安全講習会を実施。



国土交通省としても業界団体等と協力し、引き続きマリンレジャーの健全な発展に向けた取り組みを推進